



# かがり火

## ◆ 進級章は社会へお返しできる範囲 ◆

団委員長 井上 清文

青少年は、成長に応じて、自分が生活上に必要な技能や知識を修得し、進歩していることを試たがるものです。このような青少年の欲求を満たすため、ボーイスカウトには進歩制度を取り入れています。この進歩制度は、班制度とともに、ボーイスカウト教育にとって最も重要な、かつ基本的な制度であり、他の団体と異なる特色でもあるのです。

ボーイスカウト隊では、「初級」「2級」「1級」「菊」と指導者や班長、保護者の援助を受けながら、自分自身で設定した目標にしたがって計画し、実行していくのです。実行できれば、その成果を公表し、面接を経てはじめて進級することができます。

この面接は、課目考査の結果を認証するもので、「ちかい」「おきて」の実践に最善を尽くしているか、班や隊の活動に積極的に参加しているかの確認や、技能の向上の努力を讃え、今後一層の進歩向上を促す場所でもあるのです。

この面接で、私はスカウトに、「生まれてから今日まで、誰にも教えて貰わずに、一人で出来たことは何かある？」との質問をします。

スカウトたちは一生懸命考えて、色々楽しい答えが返ってきますが、最終的には何も無いこと、多くの人々に支えられていることに気がきます。そして私たちを支えていただいている多くの方々に、お返しをすべきだし、より多くのお返しをしようとすれば、より多くの技能が必要だと言うことを話します。

私もスカウトの頃か、もう少し大きくなっていた頃かも知れませんが、スカウト技能について、次のような話を聞いたことがあります。

アメリカで寒い日に、ある大きな河で船が沈没し、多くの乗客が河に投げ出され、流されていったようです。岸からも、橋の上からも流されていく乗客を助けようと、ロープや色々なものが投げられたのですが、そのロープにつかまったものの、力尽き流された人もあったようです。

その中で、ロープの端を一結びし、滑り止めにして投げたロープで助けられた人や、もやい結びで輪を作ったロープで助けられた老婆があったとのことでした。

先月号で井上治副団委員長の記述にもあるように、ボーイスカウト運動の目的に、「〈前略〉社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し〈後略〉」とあります。

この知識・技能づくりは、身に付いていなければ、「いつも他の人々を助けます」という「ちかい」の実践は出来ないことになり、また、知識・技能づくりは、可能性の発見に役立ち、「ぼくにも出来る」という自信をつける事にもなります。ボーイスカウトの創始者ベーデン・パウエル卿はLearning by Doing「行うことによって学ぶ」と言っています。

これらの意味からも、進歩と成長を自他共に認め合う、胸に輝く進級章は、本人が良く頑張っただけで進級した証であるとともに、私はここまでの技能を使って社会にお返しする事が出来るという範囲の印でもあるのです。

スカウト技能は、いつでもその技能が必要とするときに、自然にそのことが出来るよう、繰り返し練習することが必要であり、「ちかい」「おきて」の実践は、進級することによってなされるのです。より多くのお返し出来るよう、より高い目標に向かってチャレンジしたいものです。

## 団からのお知らせ

### 【 地区技能大会で総合2位 】

平月9日(日)、淀川河川敷公園において、地区主催ボーイスカウト隊の技能大会が実施されました。

スカウト技能レベルの検証とスキルアップの向上を目指し、野営活動の基本となるキャンプ生活で、班活動の活性化と開拓精神及び自然愛護の精神を育むことを目的に、地区内の各班がその技能を競いました。

枚方第2団は、日ごろの訓練が生かされ、野営工作でJ位、総合では僅差で2位になり表彰を受けました。

まだまだ完全とはいえず、問題点もありましたが、今後も練習を繰り返しながら、スカウト技能を身に付け、楽しいスカウト活動を続けたいものです。

### 【 尾※※祐君 1級スカウトに進級！ 】

尾※※祐君がボーイスカウト隊の進級章である「1級」の課目が修了し、隊長の進級証明と、団の面接が終わりました。

尾※君の胸に輝く1級章は、本人が良く頑張った証であると同時に、1級スカウトの技能を使って世の中の人々にお返しできるという証でもあり、今後の益々の活躍を期待したいものです。

### 【 まもなく日本ジャンボリー開催！ 】

7月31日(水)～8月8日(木)、山口県きらら浜に於いて第16回日本ジャンボリー(第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー)が開催され、国内外から約15,500人のスカウトが集い、枚方2団から4名のスカウトが参加します。

健康に気をつけ、多くの兄弟たちと楽しい生活を送ってくれるよう祈っています。

## 団委員及び指導者への連絡

### 【 菊結び講習 】

日時：7月27日(土) 17:00～

場所：サンプラザ 5F 和室1

### 【 合同会議 】

日時：7月27日(土) 18:00～

場所：サンプラザ 5F 和室1

# 新 知 故 温 続

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

<スカウト運動とスピリット>

## 信 仕 愛 行 遊

古 田 誠 一 郎

### 一 信 一

指導者個人にとってのスカウティングは、まずこの運動に帰依し、心からこれを信じて献身することを決意した時から始まるのであろう。

B-Pのことばにもあるように、第1に少年を信じ、少年を信じることによって、ローランド・フィリップスがただひとつの方法と折り紙をつけたパトロールシステムを信じ、そしてその機構内のすべての人々、ことに班長たちを信じて、責任を与えることができれば、はじめて自分自身を信じ得るようになるであろう。

前の新生活運動事務局長の安積得也氏は、その著書の中で、自分の中には自分の知らない自分があると説かれた。

その自分の中に潜在する未開発の自分の力を、スカウトたちとともに山野を駆け回っている間に、本当にわがものとし得たならば、それが機縁となって、見えざるところに存在する大いなる力への信頼を絶対不変のものとするのであろう。

かくして大自然の懷で、客観的にはなく、主体を以て自ら確認し得た信仰こそ、明確なものということができるはずである。

毎年4月23日には英国のエリザベス女王陛下はクイーンズ・スカウトをウインザー宮に招いて、城内チャペルで礼拝の後、集会を開いて視閲、激励される。この4月23日は、イングランドおよびスカウト運動の守護聖人セント・ジョージの記念日である。

セント・ジョージといえば、馬上からやりで悪魔を退治している絵で有名だが、生まれは小アジア・カパドキアの名家の出である。17才で軍人となり、累進してデオクレシアン皇帝の近衛隊長となったが、同帝がキリスト教徒迫害の命令を発した時、その惨忍なやり方を怒って帝を責め、そのため極刑を受けた。

しかしいかなる刑罰も彼の信仰を変えさせることはできなかったとのことである。

スカウト運動は各自が明確な信仰を持つことは奨励するが、自分の信仰によって他を律することは、連盟規約においても厳に禁止している。これは1924年8月コペンハーゲンで開かれた第3回国際会議の決議宣言に基づくものである。

けだし、信仰に関心の浅い指導者の隊においてスピリチュアルなスカウトを養成することは極めて困難であろう。それはあたかも砂漠で水を求めるよう力ものではなからうか。

### — 終わりに —

思えば水は人の生命の素であり、水なき世界には人類の生存はない。また景色は水あることによってその美を増し、河川、湖沼、大海は人の眼を楽しませる。

筆者は先年スイスの高原で、澄み渡る湖面を眺めているうちに、「水のスカウティング」とでもいうような幻想を心に浮べた。

### 水 五 態

1. 水は自分でその行く道を見出しつつ進む。
2. 水自分で先に動いて他を動かす。
3. 水は自分が奇麗な時に他を潔める。
4. 水は自然の原理に叶う求めには、従順に奉仕協力するが、原理を無視して阻む場合は、強烈な力でこれを突破する。
5. 水はいかなる所にも居を定めれば、極めて静寂である。

世の大多数の少年が、その生命の素ともいふべきスカウト運動を理解し、吸収し得て、それが社会の浄化と進展とに役立つ日の速やかに来ることを希うとともに、その日に備えてわれわれ成人指導者陣も、ますます増強され、その一人一人が残らず、スカウトスピリットに満されたいものである。

## 【7月各隊活動予定】

## ◇ ビーバー ◇

|      |               |                     |
|------|---------------|---------------------|
|      | 7月7日(日)       | 7月20日(土)~22日(月)     |
| タイトル | 七夕笹飾り         | 夏季キャンプ              |
| 時間   | 9:00~12:00    | 20日7:30~22日16:30 予定 |
| 集合   | 枚方市駅ケーブルテレビ後  | 枚方市駅ケーブルテレビ後        |
| 場所   | 御殿山生涯学習美術センター | 大阪市立伊賀青少年野外活動センター   |

## ◇ カブ ◇

『テーマ: 忍者の世界へ出かけよう』 [主な活動: 夏季キャンプ]

《目標: 自然に親しみ責任感を育てる》

|    | 組 集 会                                 | 上進章集会                     | 夏季キャンプ                               |
|----|---------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 1組 | 7月7日(日)<br>南部生涯学習センター<br>9:00~12:00   | 7月7日(日)<br>中井倉庫<br>午後から予定 | 7月20日(土)~22日(月)<br>大阪市立伊賀青少年野外活動センター |
| 2組 | 7月7日(日)<br>サンラサ生涯学習センター<br>9:00~12:30 | 詳細は別途                     | 詳細は別途                                |

※ リーダー会議 7月6日(土) 13:00~ 本部

## ◇ ポーイ ◇

テーマ: 「いざ、ジャンボリーへ!!」 活動内容: 野営技術

活動目的: 野営技術の完全習得

| 集会種別 | 班長会議    | 16NJ訓練キャンプ      | 隊集会  | 第16回日本ジャンボリー          |
|------|---------|-----------------|------|-----------------------|
| 日程   | 7月7日(日) | 7月19日(土)~15日(日) |      | 7月31日(水)~8月8日(木)      |
| 時間   | 9:00~   |                 |      |                       |
| 場所   | 本部      | キャンプおおさか        |      | 山口市きらら浜               |
| 備考   | 兼GB訓練   | 詳細後刻            | 詳細後刻 | 7/30 夜大阪発<br>8/8 夜 帰阪 |

## ◇ ベンチャー

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 7月27日(土)~28日(日)         | 8月16日(金)~18日(日)       |
| 北大阪地区キャンプ大会 プログラム企画キャンプ | 愉快的なキャンプ大会《fusion/融和》 |
| 詳細別途                    |                       |
| 交野3団野営場                 | 交野3団野営場(ベースキャンプ)      |